

宇佐市民図書館

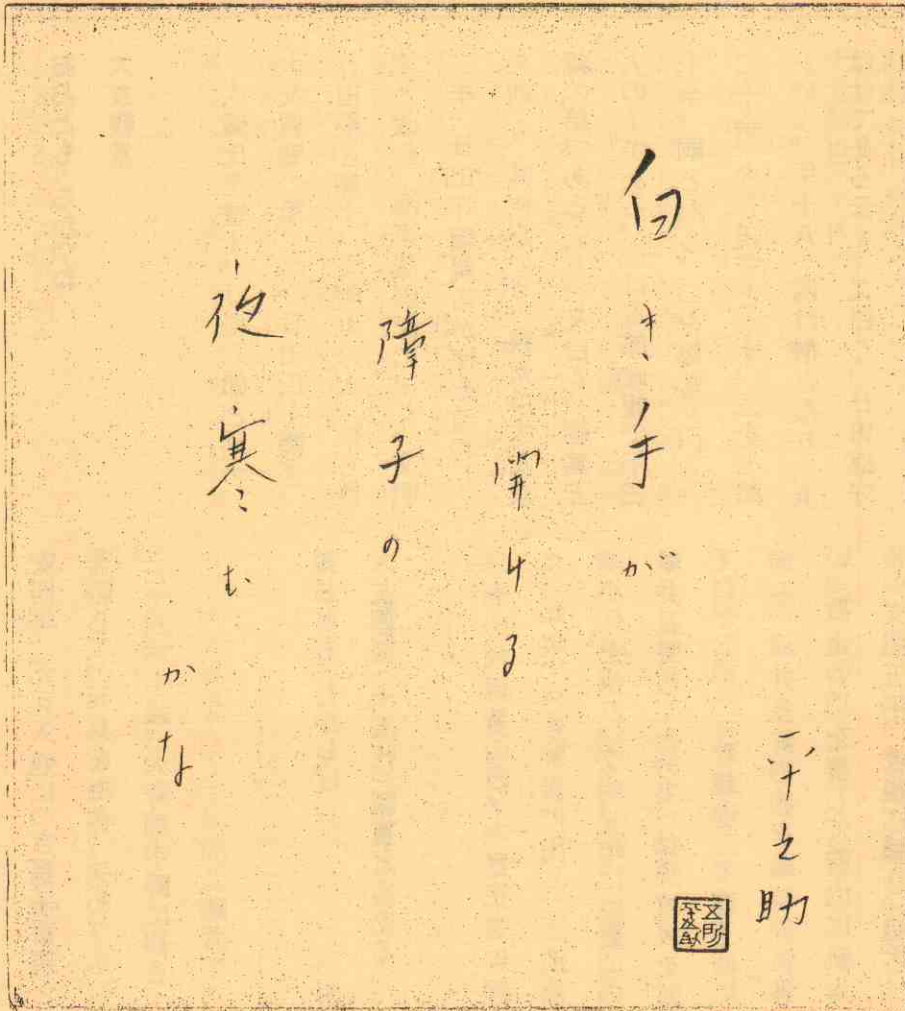
2005.12

郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679
http://www.usa-public-library.jp/

今月の表紙

五所平之助自筆俳句色紙「白き手が開ける障子の夜寒むかな／平之助」



目次

- ◆ 今月の表紙・映画監督 五所平之助の俳句色紙(4)
- ◆ 五所平之助『わが青春』より(4)
- ◆ 龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(43)
- ◆ 新着郷土資料目録・平成十七(二〇〇五)年十一月

4 2 1

不思議なことに、妾腹の私は戸籍の上で、五所平助と本妻シマの二男として届け出され、今でもそうなっている。

私の聞いた話では、本当は一月二十四日に出生したのだが、五所家の跡取りとするためには私生児では都合が悪くそのため私の誕生日を延ばし、その間にいろいろ工作をして二月一日生まれの实子として届けられたのだという。そうした背景には、手広く煙草商を営んでいた関係から、区役所の方にも父の顔が利き、特に当時部長で後に二代目の専売局長官になった浜口雄幸の蔭の政治力によったと言われている。

民政党の浜口雄幸は昭和三年に内閣を組織して総理となり、「ライオン首相」の異名をとどろかせた。不幸にも東京駅頭での右翼の兇弾が原因で昭和六年八月に逝去されたが、人情味のある大政治家として立派に名を残した。父の尊敬の念は「雄幸」の名をもらって三男に幸男と命名した事柄でもわかるのである。

五所平之助『わが青春』より
永田書房・1978

龍膽・小野精一編 大分県人名辞典 本文編 (43)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。
収録人名一覧は、No.7(2000.10)～No.14(2002.5)に連載しました。

おおともち

おおともちかつね
大友親常

大蔵氏を冒す。日田六郎と称す。大友親繁の第二子。日田氏を襲ぎ、日田殿と称す。文明中の人。後ち親武と改む。海東諸国記に曰く、文明二年、日田守護親常が使を道わし、来朝し、其使がいう。親常は大友政親の弟である云々。又曰く、親繁五人の子がある。一は五郎政親で年三十余。嗣となる。二を親常という。二十余。今日田守となす。三を七郎という。年十八。四は僧となり、五は幼である云々。又曰く、日田郡守護修理大夫大蔵親常九州に於いて兵強し云々。

おおともちかつき

大友親時(四代)

頼泰三子。左近将從五位下、弘安四年、元兵入寇につき長子貞親と苦戦して、元兵を拒き、功あり永仁三年歿六十歳。大野郡中野に葬る。
(跡考)

おおともちかしげ

大友親繁(十五代)親重ともある

十一代親著の四子。寛正六年嗣ぐ。此年、兵を筑後に出し、三池黒木小代を伐り、文明元年には豊前の城井長野叛したので、世子政親をして討たしめた。政親進んで龍王城に進み、城井長野の兵を糸口原に戦い、截定の功を奏して府内に凱旋す。文明五年、政親に譲り、明応二年、八三歳で歿した。海部郡戸室に葬る。

おおともちかはる
大友親治(十八代)

親繁の四子。義右弑せらるるや明応五年立つ。其弟親勝の義右を殺せしを責め、之を殺す。己の罪を他に転じ、人心を欺瞞したのである。文亀二年、其子親臣をして將軍義澄に謁せしむ。義澄の一字を賜い親臣を義長と改む。大内義興豊筑肥を徇う。親治大内氏追討の教書を請い、永正元年、親治兵を率い、豊前に入り、所在抄略し、神社仏閣の兵火に罹るもの多し。時に菊池武邁来って豊後を侵す。親治之を朽網に破る。然るに義右の長子親安、父の讐を報ぜんと永正三年、兵を由布岳に挙げ、府内を襲う。親治敗れて国東に走り、田原親述に頼る。親述却って親安に通ず。従つて義長を殺し、親治追兵に迫られ自殺す。時に永正

十五年なり。

おおともちかひで

大友親秀(二代)

能直長子。建久四年生。貞応三年豊前守從五位下鎮西奉行に任ず。仁治三年剃髮、寂秀と号し、寛治二年鎌倉にて没す。五十六。

おおともちかまさ

大友親將

親賢の次子である。日田六郎兵庫頭と称す。臣に平島主水亮というがある。佞媚にして罷ぜられている。之を卻けんと諫言するも、聴かれず。之を豊府に訴う。平島之を知り、乱をなさんとす。義鎮大に怒り、併せ之を伐つた。大友日田氏遂に滅ぶ。郡司職も亦廢れた。是に於いて義鎮日田の旧臣六家をして命を豊府に

待たしめた。

六家とは坂本、財津、羽野、石松、堤、高瀬である。

おおともちかよ

大友親世(十代)

八代氏時五子(又子とも)。兄氏綱の後を嗣ぎ、修理大夫に叙せらる。九州探題今川貞世を讒す。義満今川了俊を罷め、応永二年親世をして氏行せしむ。応永六年、從方氏鑑叛す。幕府、大内義弘をして氏鑑伐たしむ。親世また京師より帰り、氏鑑を破りて豊府を回復した。親世股間に七十二里子がある。漢高祖に比し、自ら高祖と称し。応永二十五年歿す。

おおともちよのひめ

大友千代能姫

大友二十代義鑑後室。防長太守

大内義興の二女。容色艶美。正室に進み、一子八郎丸を挙げ。八郎丸二十一歳になるや、執政入田親興を身方とし、既に世嗣を定まれる。新太郎を廃嫡し、実子八郎丸を立てんと。侍女井上松枝等と陰謀を廻らす。新太郎やがて別府に閉居を命ぜらる。然るに二階斃れの騒擾にて義鑑及千代能八郎丸比され、義鎮(新太郎)立つて太守に任じ、謀主入田親直を誅した。事発するや津久見田口の二老太刀を隠し、女装をなし、簾中に侵入し、千代能姫と思ひ切り付けたが、千代能でなくて義鑑であった。田口は近習を相手に闘う。津久見進んで千代能八郎丸の臥せし一室に入り、二人の首を打ち、手向る。松林を切り殺した。

(建勲史)

おおともながよ

大友永世

大蔵七郎丸の姉婿である。日田氏を冒し、郡司職を嗣ぐ。大友家乗には永世を氏世と作す。氏世は大友氏時の第一子で大蔵氏を継ぎ、日田四郎と称云々。
(豊後国史)

バックナンバーは、
郷土スペース(雑誌架)に
ファイルしています。
ご希望のかたには、
中央カウンター(そうだん)で
さしあげます。

新着郷土資料目録 平成17(2005)年【11月】

書名/人名/出版社/出版年(月)/請求記号/(備考)

- 夕方なしかの本7/大分放送/2005/A049オ/(購入)
- 大分県内遺跡発掘調査外報8 2005/大分県教育庁埋蔵文化財センター/2005/A200.2オ/(寄贈)
- 大分県内遺跡発掘調査外報13 2005/大分県教育庁埋蔵文化財センター/2005/A200.2オ/(寄贈)
- 安心院町誌/安心院町誌編集委員会/1970/A2157/(寄贈・複本)
- 新・大分県万能地図 全面改訂版/大分合同新聞社/2005/A290オ/(購入)
- 宇佐・国東めぐり/淵敏博/地域文化出版/2003/A2907/(寄贈)
- 福沢諭吉3 白秋篇/岳真也/作品社/2005/A309カ/(購入)
- 第五回宇佐市議会定例会会議録 平成17年9月/宇佐市議会/2005/A314.5ウ/(寄贈)
- 安心・活力・発展プラン2005/大分県企画振興部/2005/A373オ/(寄贈)
- 大分県新環境基本計画/大分県生活環境部/2005/A375オ/(寄贈)
- 大分県立宇佐高等学校創立百周年記念学校史/大分県立宇佐高等学校/老上ヶ丘同窓会
/1997/A376.4オ/(寄贈)
- 豊前神楽考/橋本幸作/海鳥社/2005/A385ハ/(購入)
- 年表太平洋戦争全史/日置英剛/講談社/2005/A390ヒ/(購入)
- 潜水艦・潜水母艦/呉市海事歴史科学館/ダイヤモンド社/2005/A550ク/(購入)
- 大分県美術協会 40周年記念誌/大分県美術協会/2005/A706オ/(寄贈)
- ベエが戦争に行った日/野々下留美/国分寺:新風舎/2005/A726イ/(購入)
- 大分の四季/大分の書を求める豊墨会/2005/A728オ/(寄贈)
- 写真と資料で見る 大相撲名鑑/景山忠弘/学習研究社/1996/A788カ/(購入)
- 四季の詩画集/阿部なるみ/大分合同新聞社/2002/A911.57/(購入)
- あおばんせ/朝日容子/国分寺:新風舎/2005/A9147/(寄贈)

【点字資料】

- 宇佐海軍航空隊始末記 第1巻/今戸公德/原著:光人社/2005/TA390イ/(寄贈)
- 宇佐海軍航空隊始末記 第2巻/今戸公德/原著:光人社/2005/TA390イ/(寄贈)
- 宇佐海軍航空隊始末記 第3巻/今戸公德/原著:光人社/2005/TA390イ/(寄贈)
- 宇佐海軍航空隊始末記 第4巻/今戸公德/原著:光人社/2005/TA390イ/(寄贈)
- 宇佐海軍航空隊始末記 第5巻/今戸公德/原著:光人社/2005/TA390イ/(寄贈)
- 宇佐海軍航空隊始末記 第6巻/今戸公德/原著:光人社/2005/TA390イ/(寄贈)
- 宇佐海軍航空隊始末記 第7巻/今戸公德/原著:光人社/2005/TA390イ/(寄贈)
- 宇佐海軍航空隊始末記 第8巻/今戸公德/原著:光人社/2005/TA390イ/(寄贈)
- 宇佐海軍航空隊始末記 第9巻/今戸公德/原著:光人社/2005/TA390イ/(寄贈)